



代表 はまうら佳子

〒582-0026
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
電話 072-977-5502
FAX.072-977-8782

info@yoshiko-hamaura.com

市長は財政改革ができる人を！ 国からの交付金を引っ張ってくるトップセールスマンを！

来年3月10日の市長の任期満了に伴い、柏原市長選が2月12日に行われる。この4年間の市政がどうだったのか、市民が決断を下す時がきた。赤字の柏原市を立て直し、市民生活を向上させる市長を選ぶ絶好のチャンスである。



早期健全化団体、財政再生団体とは？

「早期健全化団体」とは、一般的にいいますと倒産にはならないがあまりよくない会社にあたるもので、「財政再生団体」になると、国の手助けと管理により財政再生に向けて取り組まなければなりません。

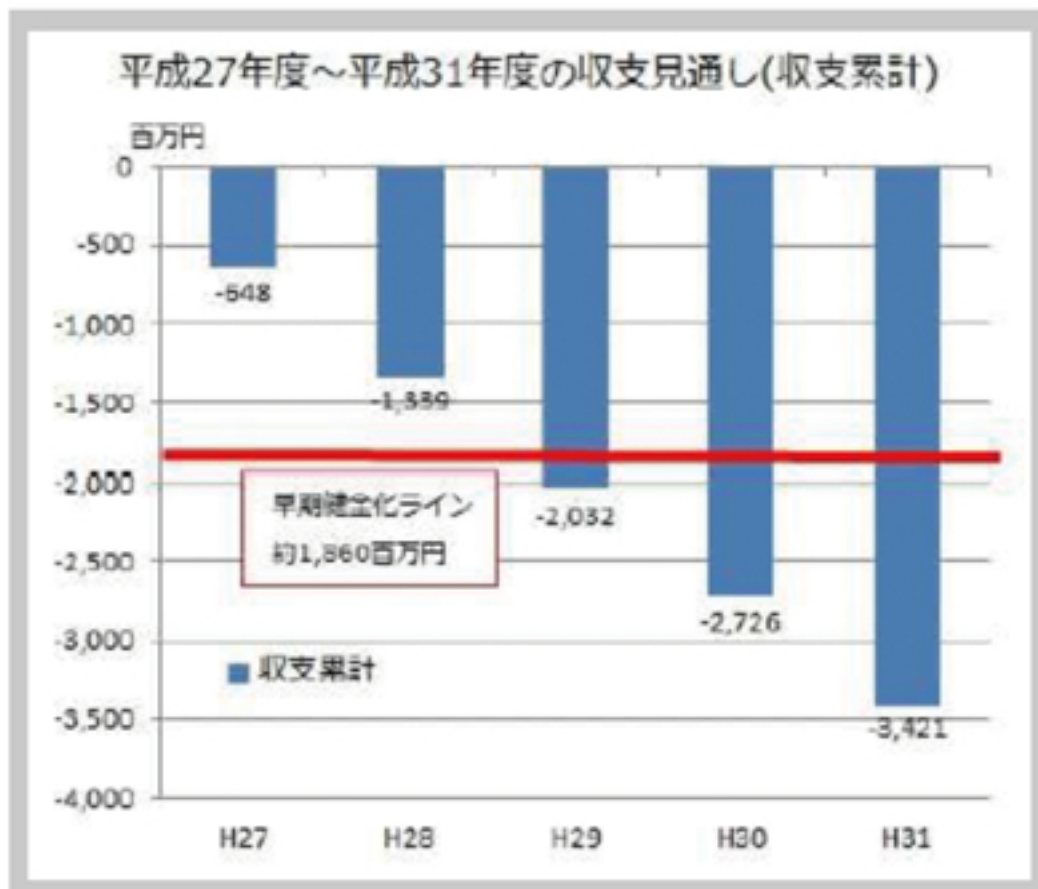
早期健全化団体、財政再生団体になると市民生活どうなるのか？

「早期健全化団体」「財政再生団体」になると、国の監視のもとで、財政健全化や財政再生に向けて計画的に取り組まなければならなくなり、事実上お金の使い方が制限される。

特に、「財政再生団体」になると、原則として借金が制限されるので、道路の整備や学校施設等の整備がなかなか進まなくなる可能性がある。また、施設の使用料など、市民負担が増えることになる。

柏原市は、毎年、行財政健全化を推し進め努力はしている。しかし、平成31年には約34億円の歳入不足になるのが実情である。

このままなら柏原市は破たんするかもしれない？
平成29年には、柏原市は「早期健全化団体」のラインを突破！



グラフは柏原市HPより

今後、歳入増になれば財政の健全化を図ることができるとは、現時点では難しいのではないかと考える。歳出を抑制する方法だけである。歳出の削減を図ることは、市民サービスの低下、ひいては職員の給与削減にもつながるかもしれない。力のある者の主張がとおり、弱者は我慢を強いられる。行く末は、格差社会につながるのではないかと危惧をする。今こそ、市民が古い旧態依然の市政を変えるべきであり、市民と共に身を捨てて市政改革ができるリーダーを選ぶべきときである。

市長には行財政改革ができる人！
小池都知事のように税金の無駄をチエックできる人！
国からの交付金・補助金等を引き出すことができる人！

財政破綻した夕張市の現状！



2007年3月、全国唯一の財政再生団体になった夕張市は、1960年4月末の11万6908人であった人口が現在1万人を割り込んでいる。多くの若者が夕張市を離れ、再建のために市民税や水道料金などが上がり、住民負担が増加して市外への転出に歯止めがかからなかったからだ。

原因として、人口に見合った職員数及び人件費の抑制が不十分であったこと、観光リゾート開発とその関連の財政負担のために借金を増やしたからである。



このままだと、柏原市が!!